令和６年 12 月定例会記者発表

Ｒ６.11.25

おはようございます。

記者の皆さんには、ご多用のところ、ご参集をいただき有難うございます。

まず始めに、ＦＣ今治が悲願のＪ２リーグ昇格を果たしました。

自動昇格圏内の２位を確定させた 10 日のアウェイ戦では、パブリックビューイング会場となった「芝っち広場」に約 600 人ものファンが詰めかけ、得点を決める度に大きな歓声が上がり、勝利の瞬間、会場は歓喜の渦に包まれました。

四国リーグからＪＦＬ、Ｊリーグ昇格と、ここまでの歩みは決して順風満帆なものでは

なく、何度も悔し涙を流してきました。それでも夢の扉が開くことを信じ、戦い続けた選手、監督はじめ、チームの皆さんの弛まぬ努力と情熱に、心から敬意を表し、これまでの健闘を惜しみない拍手で称えるとともに、私たち今治市民に勇気と希望、そして熱い感動を届けていただいたことに対し、深く感謝を申し上げたいと思います。

昨年１月に誕生した「アシックス里山スタジアム」を中心に一体感が生まれ、今治中に活気と賑わいが溢れ、正に、岡田武史会長が10年前に掲げられた「スポーツの力による地方創生」がこのまちで体現されていることを強く感じています。

今後、Ｊ２となると注目度も高まり、相手チームのサポーター数も絶対的に多くなるとも伺っており、スポーツの躍動感を地域振興

に結び付けられる好機であると考えております。気は早いですが、Ｊ１の舞台もいよいよ夢ではなくなってまいりました。引き続き市民一丸となり応援してまいりましょう。

市内におきましては、合併20周年記念事業をはじめとする様々な催しを開催させていただきました。

なかでも、10月13日（日）には、サンリオスペシャルパレード、こどもが真ん中フェスタ、SDGsフェスティバル・キャラクターショーといった「こどもが真ん中」のイベントが目白押しで、市民がさんかくおむすび交流会、せとうちみなとマルシェと合わせて７万４千人もの方々にお越しをいただき、今治港から芝っち広場まで、途切れることなく賑わいが生まれました。

また27日（日）には、「サイクリングしまなみ2024」が開催され、全ての都道府県と27の国・地域から訪れた約3,500人(3,446名）の参加者に、島々が織りなす美しい景観のもと、開放感あふれるサイクリングを楽しんでいただいたほか、

11月には、国際的な自転車の安全文化の発展を図る「国際自転車安全会議」が、アジアで初めて、ここ今治で開催されるなど、全ての自転車利用者にやさしいまち「サイクルシティ ＩＭＡＢＡＲＩ」を世界に発信できたものと感じています。期間中には「今治城プレミアム歌舞伎」が上演され、皆さん幽玄な舞踊に酔いしれ、夜の今治城は大きな熱気に包まれました。

このほかにも、勇壮華麗な「弘前ねぷた」が再び、今治の夜を鮮やかに彩り、合併20周

年、そして２周年を迎える「せとうちみなとマルシェ」に華を添えてただいたほか、愛媛の代表的な伝統文化である「宇和島の牛鬼」、「西条のだんじり」､そして｢今治の継ぎ獅子」が一堂に会し、郷土芸能のコラボレーションが実現するなど、文化の秋を感じていただける催しになったものと感じております。

一方で、ちょうど一週間前の 18 日（月）、地元企業にとっての新たなイノベーション拠点となる「クロステックラボ イマバリ」が、今治地域地場産業振興センター内に誕生しました。

ラボには、世界初の最新鋭３Ｄプリンター「バトラー」や協働ロボットが設置され、新たなビジネスとイノベーションを創出する場として、革新的なアイデアの創出や新産業の

発展につなげていただきたいと考えています。

多くの基幹産業が熟練技能者の高齢化や人材不足といった課題に直面する中、その解決に向け、ＤＸの推進と新技術の導入を通じて、今治の産業の未来を切り拓いてまいります。

また一方で、物価高騰への対応などを柱とする国の経済対策につきまして、その裏付けとなる補正予算案が、まもなく国会で審議される予定（臨時国会 11/28～12/21）でございます。この経済対策を踏まえた支援策につきましては、国の予算成立を待ち、対応させていただく方向で準備を進めてまいりたいと考えてございます。

それでは、12 月定例会への提出予定案件につきまして、発表をさせていただきます。

まずは、議会日程でございます。お配りしている資料の最後、９ページに添付をしておりますとおり、会期は12月２日から19日までの18日間でございます。

提出予定の案件は、資料の１ページに整理しておりますように、補正予算案、条例案がそれぞれ６件、その他の議案が７件、専決処分などの報告１件の、合わせて 20 件でございます。

補正予算案の概要でありますが、補正予算の規模は、

一般会計が	27億2,634万８千円
特別会計が	１億87万９千円
企業会計が	1,789万８千円
合わせて	28億4,512万５千円

全会計を合わせますと、前年比３．８％の

増となってございます。

（一般会計 6.9%増）
（特別会計 0.9%増）
（企業会計 2.7%減）

それでは、５ページからになります、予算の主なものについて、私が公約に掲げる７つの政策の柱に沿ってご説明いたします。

まず、【大項目２：「市民が真ん中」のまちづくり】でございます。

番号１ですが、伯方支所跡地活用事業の公民館及び体育館に係る整備費について、工事請負契約約款の規定に基づき、建築資材等の物価上昇に対応するため、それに係る債務負担行為予算6,600万円を計上しようとするものでございます。

続いて【大項目４：瀬戸内クロスポイント構想の実現】でございます。

番号２は、９月に今治市海事都市交流委員会より「海事都市・今治の未来創生に関する要望書」が提出されたことを受け、要望趣旨に賛同する企業の皆さんからいただいた寄附金を、今回新たに創設する基金に積み立てようとするものでございます。

これとあわせまして、基金条例の改正案を提出させていただいております。

続いて【大項目５：島と海と陸をつなぐ魅力あるまちづくり】でございます。

番号３と４は、ふるさと納税制度を活用した「ＦＣ今治サッカー専用スタジアム建設」プロジェクトに関するものでございまして、

番号３は、今年度上半期（９月末まで）に

受領した寄附金をスポーツ振興基金に積み立てるものでございます。

番号４ですが、本プロジェクトに関しましては、寄附金の９割をスタジアム建設補助に、残り１割を市のスポーツ振興に活用することとしており、上半期分の寄附額の９割を、スタジアム建設補助として「株式会社今治．夢ビレッジ」に助成しようとするものでございます。財源は全額、先ほどの「スポーツ振興基金」からの繰入金でございます。

番号５は、「今治文化・スポーツ祭」の事業の一つとして実施に向け調整していた「橋田壽賀子生誕 100 周年記念事業」について、実施期間が次年度に跨ることが確定したことから、繰越明許費予算を計上しようとするものでございます。

本事業は、一般財団法人橋田文化財団とイオンモール今治新都市と連携し、本市にルーツを持ち日本を代表する脚本家、橋田壽賀子先生の生誕100周年を記念する遺品展覧会等を実施することにより、橋田先生を介して「地域の魅力」を発信し、関係人口と交流人口の拡大を図ろうとするものでございます。

最後に【大項目７：防災・減災対策で災害に強いまちづくり】についてでございます。

番号６は、愛媛県が実施する港湾整備事業につきまして、国庫補助金の内示額にあわせて県が事業費を増額補正したため、当該県営事業負担金を増額しようとするものでございます。特定財源は全額、過疎債でございます。

番号７と８ですが、８月の南海トラフ地震臨時情報の発表と台風 10 号による大雨に加

え、今月２日の豪雨に伴う水防活動の応急処置費用と、農業用施設・林道・市道・公園の災害復旧費について、11 月 11 日時点の状況を基にそれぞれ計上してございます。

これらのほか、

　特別会計、公営企業会計における人事異動等による人件費の増減に加え、

　国民健康保険特別会計においては、過年度の診療報酬等の額の確定に伴う県支出金の返還金などを計上してございます。

　こうした予算案以外にも、共生社会の実現に向け、新たに制定する「今治市共に生きる社会づくり条例」のほか、公の施設の指定管理者の指定を行う議案などを提出してござい

ます。

発表事項は以上でございます。

なお、各事業の詳細につきましては、後ほど時間を取って、総務部長・財政課長から個別にご対応をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。